

株主および投資家のみなさまへ

# Shimadzu Report

第146期 中間事業のご報告

平成20年4月1日～平成20年9月30日

株式会社 **島津製作所**

## 世界に支持される島津ブランド



### Contents

株主の皆様へ	1
業績の推移	2
事業の概要	3
グループ会社紹介	6
トピックス	7
連結決算の概要	11
単独決算の概要	13
会社概要・株式情報	14

※表紙写真の説明は、10頁をご覧ください。

# 株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。  
ここに第146期上半期（平成20年4月1日から平成20年9月30日まで）の  
中間事業のご報告をお届けいたしますので、ご高覧賜りますよう  
よろしくお願い申し上げます。

平成20年12月

取締役社長 服部重彦



## 当上半期の業績の概要

当上半期におけるわが国経済は、米国経済の減速や資源価格上昇の影響等で景気は減速感が出てきました。海外においては、米国および欧州では、サブプライムローン問題をきっかけとした金融不安の高まりによる景気減速がみられるものの、中国、インドおよびロシアなどでは市場の拡大が続きました。

このような情勢のもとで、当社グループは、本年4月からスタートした3か年**中期経営計画**の基本方針である“**世界に支持される島津ブランド**”の構築を目指して、マーケティング力強化による成長の持続と、確固たる収益基盤を構築するための機能・プロセス改革を進めるとともに、顧客ニーズに対応した新製品の拡販に注力いたしました。

この結果、当上半期の業績につきましては、売上高は1,369億5千9百万円(前年同期比1%減)となり、営業利益は120億4千6百万円(同3%減)、経常利益は118億4千6百万円(同5%増)、中間純利益は78億7千5百万円(同20%増)となりました。

中間配当金につきましては、1株につき4円50銭とさせていただきます。

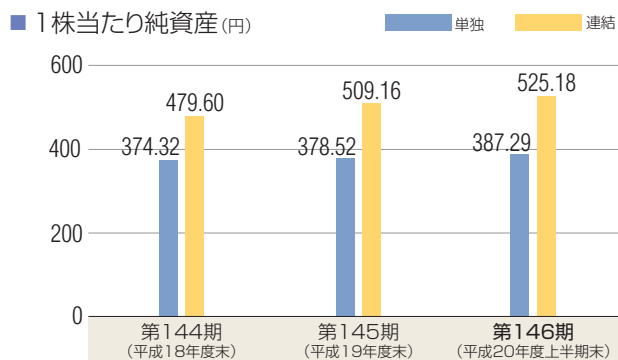
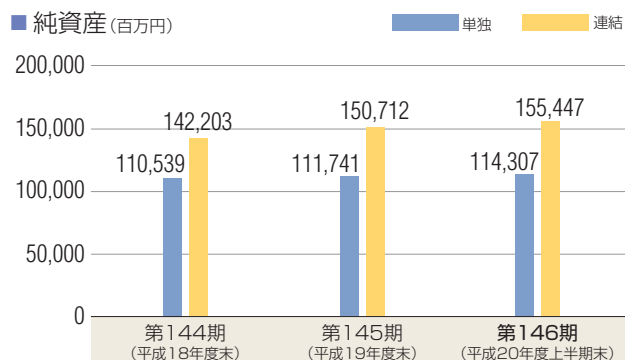
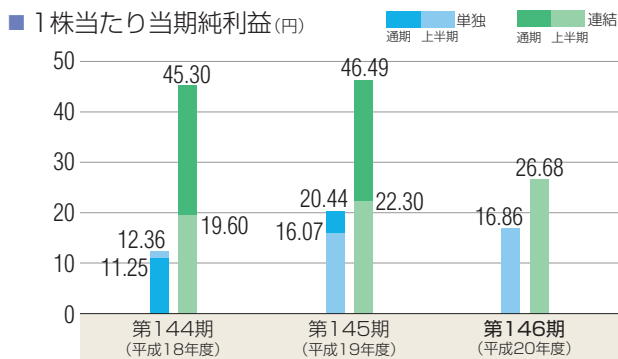
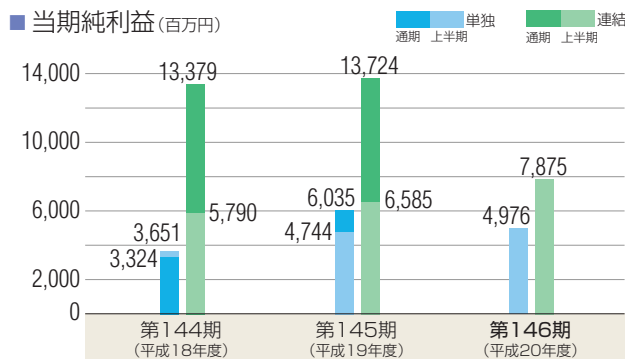
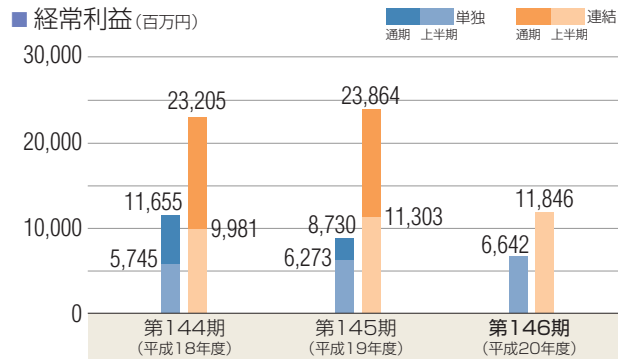
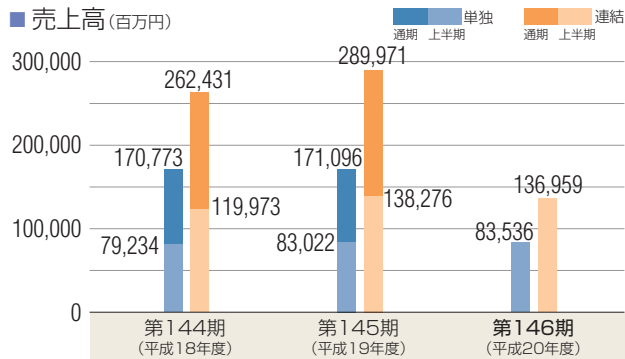
## 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、為替、資源価格の動向および米国に端を発する金融危機の世界的な広がりと深刻化、金融・株式市場の混乱や信用収縮等による実体経済への悪影響の波及とこれに伴う世界経済への打撃など、事業を取り巻く環境はより厳しさを増すものと見込まれます。

このような経営環境のもと、当社グループは、産業・顧客指向のマーケティング活動を展開して、成長機会を自ら創出し、“**世界に支持される島津ブランド**”の構築を目指します。また、確固たる収益基盤を構築するための機能・プロセス改革を着実に実行してまいります。

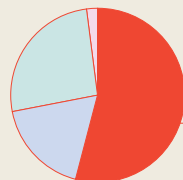
株主の皆様におかれましては、今後とも引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

# 業績の推移

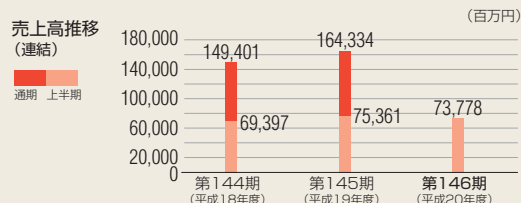
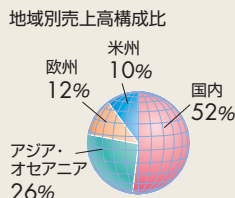


# 事業の概要

## 計測機器事業



当上半期連結売上高  
**737億7千8百万円**  
(前年同期比2%減)  
売上高構成比 **54%**



### 【概況】

- 国内市場は、大型分析装置や材料試験機の更新需要が一段落したことや、官公庁・大学市場が低迷したことにより全体として低調でしたが、主力の高速液体クロマトグラフと工業用X線検査装置は新製品の投入による製品系列の強化で売上を伸ばしました。
- 海外市場は、中国などアジアでは食品の安全性や環境問題への関心がより一層高まったことで、質量分析計、光分析装置、環境計測機器などが堅調に推移しました。北米および欧州では、質量分析計、材料試験機、高速液体クロマトグラフなどが好調に推移しました。

### 【今後の事業展開】

- 国内市場は企業の研究開発投資に減速傾向が見られますが、今後もクロマトグラフ、質量分析計、光分析装置などを中心に拡販を進めるとともに、高分子解析システム等の新たな応用分野での販売の拡大やさまざまな分野に対応したアプリケーション開発に努めます。
- 海外市場では成長率の高かった新興国市場（インドやロシアなど）でクロマトグラフや質量分析計等の需要の伸びに鈍化傾向が見られますが、中国・北米・欧州・中東などでは市場拡大の余地があり、グローバルな販売体制を強化し、さらなる事業拡大を目指します。
- 環境問題や食の安全への関心は世界規模で高まっており、今後も環境計測機器やクロマトグラフ、質量分析計の需要が大きく伸びることが予想されます。市場のニーズをくみ取り新製品の開発につなげるとともに、新規アプリケーションで販売促進を図ります。

### 主な製品

ガスクロマトグラフ、高速液体クロマトグラフ、質量分析計、光分析装置、表面分析装置、タンパク質解析装置、環境計測機器、材料試験機、工業用X線検査装置、光学デバイス、レーザ機器、はかり

### 【トピックス】

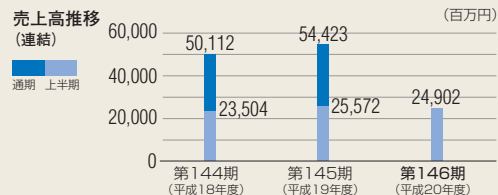
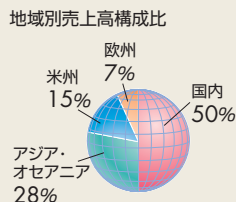
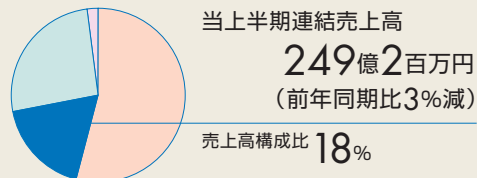
電子部品や自動車など幅広い分野で品質管理に用いられている  
マイクロフォーカスX線透視検査装置が好調

おもに電子部品や自動車などの生産現場における品質検査ラインで用いられるマイクロフォーカスX線透視検査装置SMX-2000は、操作の簡便性とスピーディさ、高精細画像による高精度な検出能力により好評を得ています。

マイクロフォーカス  
X線透視検査装置  
SMX-2000



## 医用機器事業



### 【概況】

- 国内市場は、医用画像診断機器の市況が低迷し、売上は低調でありました。
- 海外市場は、デジタル化対応製品の需要が堅調で、製品群を充実させた直接変換方式フラットパネル検出器 (FPD) 搭載の診断用X線撮影装置を中心に売上が伸びました。地域別では、北米、中国および中東で好調に推移しました。

### 【今後の事業展開】

- 海外においては北米を中心に高いシェアをあげている FPD搭載回診用X線撮影装置 (10頁をご参照) をはじめ、デジタル化対応機種への拡販に注力していきます。
- 外部研究機関との共同研究を積極的に推進し、放射線被ばく量を大幅に抑えることのできる断層撮影技術「トモシンセシス」など、臨床アプリケーションの充実を図ります。

### 主な製品

診断用X線装置、診断用核医学装置、医用X線CT装置、超音波画像診断装置、近赤外光イメージング装置、医療情報システム

### 【トピックス】

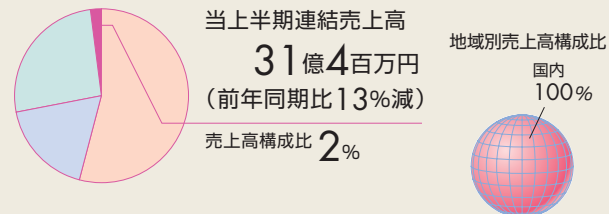
#### 操作性を高めた血管撮影システムが好調

放射線科、循環器内科、脳神経外科等で用いられるFPD搭載の血管撮影システム「BRANSIST safire」の売れ行きが好調です。今年7月にはCアーム機構をスリム化し、より深い角度からの透視、撮影を可能にすることで、血管造影検査や血管内治療をよりスムーズに行うことのできるスレンダータイプを発売しました。



血管撮影システム BRANSIST safire

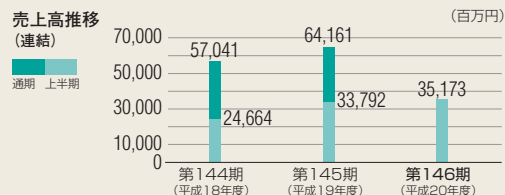
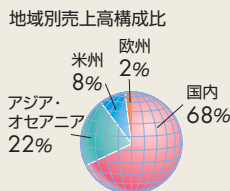
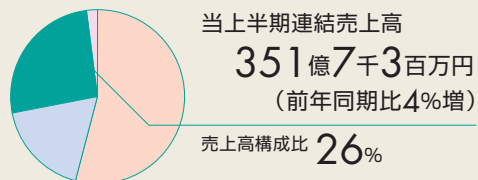
## その他の事業



### 主な事業

不動産賃貸、不動産管理、ソフトウェア開発、製品設計、建設舗床業 等

## 航空・産業機器事業



### 【概況】

- 航空機器では、国内市場は次期固定翼哨戒機 (XP-1) と次期輸送機 (C-X) の試作機製品の納入が完了したことなどにより防衛需要が一段落し、売上が減少しました。海外市場においては民間航空機需要が回復傾向を続けており、底堅く推移しました。
- 産業機器では、半導体市場が停滞するなか、ターボ分子ポンプは液晶パネルやガラスコーティングなどの市場の需要が増加し、売上が伸びました。太陽電池成膜装置は太陽光発電市場の拡大を背景に、中国・台湾を中心に売上が大きく増加しました (8頁をご参照)。油圧機器はフォークリフトなどの産業車両向けを中心に堅調に推移しました。

### 主な製品

航空機器：空調システム、飛行制御システム、ヘッドアップディスプレイ、ロケット用バルブ、航空機器機能試験装置  
産業機器：ターボ分子ポンプ、液晶TFTアレイ検査装置、太陽電池成膜装置、プラズマCVD装置、液送機器、油圧機器

### 【トピックス】

#### 次期固定翼哨戒機が防衛省に納入

8月29日、防衛省の次期固定翼哨戒機 (XP-1) の試作1号機の納入式が行われました。当社は空調装置など10品目の搭載機器の開発を担当しています。今後は次期輸送機 (C-X) とともに将来の量産に備えて、品質・コストの改善や内製化設備の整備を進めていきます。

次期固定翼哨戒機納入式【出典:防衛省 技術研究本部 ホームページ】



### 【今後の事業展開】

- 航空機器については、試作機の納入を終えた防衛省のXP-1の飛行試験をサポートするとともに、量産化に備えて体制の整備を進めます。またF-15戦闘機の近代化改修に向けては、量産開発を計画通り進め業績に貢献させます。民間航空機関連については、ボーイング社の次期輸送機B747-8の初フライトに向けて、フラップ駆動システムの品質認定試験及び量産機用製品の納入に注力していきます。
- 半導体市場の動向については不透明感がありますが、液晶市場や太陽電池市場では今後も投資が続くことが予想され、ターボ分子ポンプの需要増が見込まれます。このほど本格稼働を開始した新工場において、新生産体制による作業効率のアップと増産に努めます。
- 太陽電池の需要増に対応し、今後さらに生産設備を増強して内製化率を高め、品質向上とコスト低減を図ります (8頁をご参照)。

# グループ会社紹介

## Vol.7

### 島津プレシジョンテクノロジー株式会社 SHIMADZU PRECISION TECHNOLOGY, Ltd. [SPT]



本社・工場（滋賀県大津市）

中期経営計画では、「真のグローバル企業」を目指し、“世界に支持される島津ブランド”の構築を目標として掲げています。今回は、油圧機器を製造し、世界に通用するグローバル企業を目指しているグループ会社を紹介します。

#### Q. 島津プレシジョンテクノロジー [SPT] はどんな会社？



**A.** SPTは、1973年に当社 油圧機器部（現フルイディクス機器部）の製造子会社として設立されました。現在、当社グループでは、製造はSPT、販売はフルイディクス機器部が担っています。

主要製品はギヤポンプ、コントロールバルブ、ピストンモータ、パワーパッケージです。そのほとんどが「縁の下の力持ち」的存在であるため、日常生活で直接、目にふれる機会は少ないですが、産業車両（フォークリフト）、特装車両（トラックゲート、トラッククレーン、塵芥車）、建設機械（ショベル、ミニショベル）、農業機械（コンバイン、トラクタ）、介護用リフターなどの心臓部の油圧部品として幅広い分野で使われています。

#### 油圧ギヤポンプで世界No.1を目指す！

SPTの売上の半分を占めるギヤポンプは、国内のフォークリフト市場で65%以上の高いシェアを持っています。近年、ギヤポンプは、コンパクト・高圧・軽量といった特性に加えて、騒音の低減が強く求められています。このようなニーズに応えるべく他社に先駆けて低騒音・低脈動ギヤポンプを開発しましたが、その技術力が高く評価され、現在、国内の主要なフォークリフトメーカーに多く採用され、また海外にも広く輸出しています。

今後、更なる生産能力の向上とリードタイム短縮を図るため、新工場を建設（2009年5月完成予定）し、「油圧ギヤポンプで世界No.1」を目指します。

- 資本金：3千万円
- 年間売上高：70億7千万円（2008年3月期）
- 拠点：本社・工場（滋賀県大津市）



ギヤポンプ



# トピックス

## 第146期上半期の主なトピックス

平成20年(2008)

- 計測機器事業
- 医用機器事業
- 航空・産業機器事業
- その他

4月 ■ 当社製高速液体クロマトグラフや分光光度計に搭載している光学キーデバイスの一つである非球面反射鏡(凹面トロイダルミラー)の外販を開始

6月 ■ 中国・四川大地震の被災者に義援金と回診用X線撮影装置を、ミャンマー・サイクロンの被災者に義援金を寄付(10頁をご参照)

7月 ■ Cアーム機構をスリム化し、よりスムーズな血管造影検査や血管内治療を可能にした血管撮影システムBRANSIST safireスレンダータイプを発売(4頁をご参照)

■ 大視野の17インチ角直接変換方式FPDを搭載した血管撮影システムにより、CTに近い断層画像が得られるCTライクイメージング「Safire 3D-C」を発売

8月 ■ 京都モデルフォレスト協会と連携し、京都府南丹市で「島津製作所の森」づくりを開始(9、10頁をご参照)

■ 従来より大型の部品を検査できる工業用X線透視検査装置の高機能型機種を発売

■ 液体中の微粒子の大きさを独自開発の新技術で測定する粒子径測定装置を発売

### シングルナノ粒子径測定装置IG-1000

粒子で回折格子の形をつくり、それが崩壊する際の拡散スピードから粒子径を測る装置です。従来では測定が困難であった液体中の10nm以下の微粒子を再現性よく測定できます。



■ 最大4台までのカメラによる超高速同期撮影を可能にした高速度ビデオカメラを発売

### 高速度ビデオカメラ HyperVision HPV-2

最高100万コマ/秒の超高速撮影と高解像度を実現した現行機種の特長に加えて、PC1台で最大4台までのカメラを制御し、同期撮影もできる機能を新たに装備しました。



9月 ■ 測定速度と検出感度を向上させたコンパクトな液体クロマトグラフ質量分析計を発売

■ プレの少ない鮮明画像を撮影直後にその場で確認でき、病室や手術室、救急現場などX線撮影室以外でも活躍する移動型のデジタル式回診用X線撮影装置を発売(10頁をご参照)

■ 合成高分子材料の成分分析をより短時間でできるサイズ排除クロマトグラフィー質量分析装置を発売

## 急成長を続ける太陽光発電市場で成膜装置の需要が拡大

近年、新しいエネルギー源として太陽光発電市場が急速に成長を続けており、それに伴い太陽電池成膜装置の受注が好調な推移を見せています。

太陽光発電システムの高効率化には、キーパーツである太陽電池セルが光エネルギーのうち何%を電力に換えることができるかという変換効率が重要となります。成膜装置は、入射した太陽光が反射するのを防ぎ、より多くの光を取り込むための反射防止膜をセル表面に成膜する装置です。変換効率は多結晶シリコン太陽電池セルの場合おおむね12～15%ですが、反射防止膜を成膜することによって15～20%にアップし、同じ枚数のセルでもより多くの発電量を得ることができます。

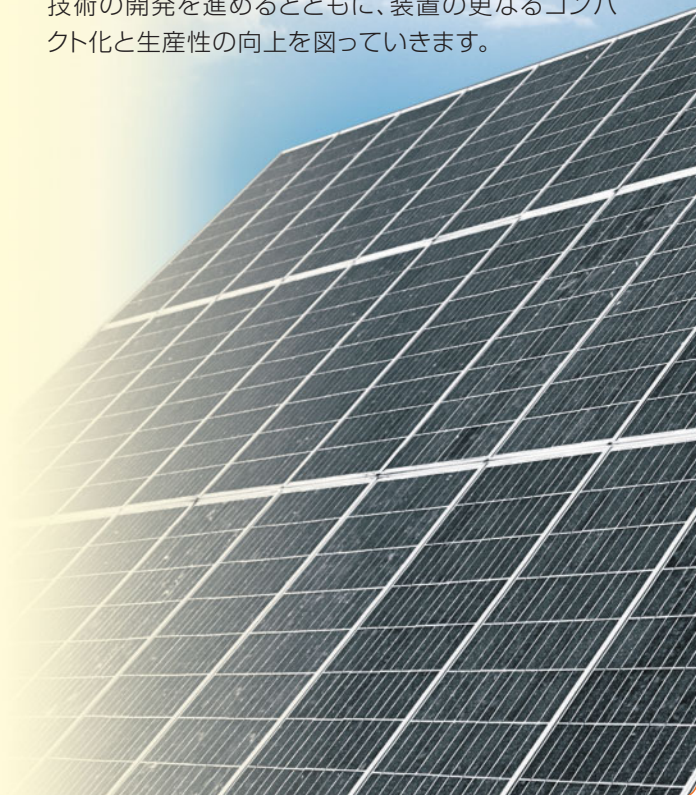
当社の成膜装置は国内でほぼ100%のシェアを獲得しており、海外でも約20%と強さを見せています。上半期は特に設備投資に積極的な中国・台湾などの新興メーカーからの受注を伸ばし、前年同期比60%の売上増となりました。

当社は1988年に最初の量産タイプの太陽電池成膜装置を製品化し、以後、国内の大手太陽電池メーカーへの納入を続けています。今年春には新製品SLPC-TBを発売しました。新製品は装置の設置面積を従来品比で60%縮小したほか、処理枚数を増やし、ハイスループットでコストパフォーマンスにすぐれた製品となっています。

今後はより高い変換効率を実現する高品質な成膜技術の開発を進めるとともに、装置の更なるコンパクト化と生産性の向上を図っていきます。



太陽電池成膜装置SLPC-TB



## 環境保全を目指した社内外での環境活動の取り組み

8月4日、当社は環境保全活動の一環として社団法人京都モデルフォレスト協会等と「森林の利用保全に関する協定」を締結しました。この協定は府民全員で京都の森を守りはぐくむ京都モデルフォレスト運動へ参画し、森林保全にかかる資金を提供すると共に、社員とその家族がボランティアとして森林の整備や利用保全活動を実施していくものです。京都府南丹市の森林52haを活動の場として、今後10年間にわたり「島津製作所の森」づくりを進めていきます。

当社は経営理念「人と地球の健康」への願いを実現する」のもと、総合分析機器メーカーとして環境計測機器や土壌浄化システムの開発など、製品およびサービスを通して地球環境の保全に貢献することを



調印式(写真中央 当社服部社長)

目指しております。それと同時に、「森づくり」を始め、社内外において積極的に環境への取り組みを推進しております。

### 社内における取り組み

当社では地球環境の保全と事業活動との調和を経営の最優先課題の一つとして位置づけ、CO<sub>2</sub>排出量の削減や代替エネルギーの採用、ライフサイクルを考慮した環境負荷の少ない製品の開発などを進めています。2005年3月からは京都府の助成を受け、

本社工場の屋上緑化(屋上ビオトープ)を始めました。ハーブやビオラ、落花生などを植えて生物の生育環境を整えると共に、温度計測器を設置して断熱効果による省エネ効果を確認しました。

また2006年および2007年に竣工した本社新工場2棟には太陽光発電パネルを設置し、CO<sub>2</sub>排出量削減と省エネに努めています。



落花生

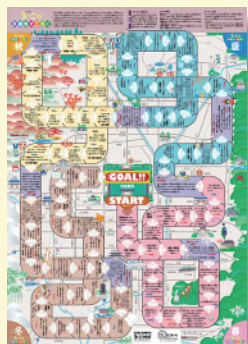


屋上ビオトープ

### 外部への環境活動の支援

社内の環境保全活動で培ったノウハウを社外へ提供するため、環境経営セミナーや環境規制セミナーの開催、ISO-14001取得支援など社外の方々を対象とした外部環境活動支援も積極的に行っております。こうした外部支援の件数は、2008年9月までの間に611件に上り、約29,000人の方々に参加いただいております。

また、1999年に女性社員を中心として結成した環境教育プロジェクトチーム「え〜こクラブ」は、「え〜この京路地すごろく」やカードゲーム「bidi」など、楽しく遊びながらゴミ問題や生物多様性などについて学べる教材を開発しています。2001年からはこれら



え〜この京路地すごろく



bidi



小学校への出前授業

教材を活用して小・中・高等学校への出前授業を行っており、その回数は2008年9月末までで60回となりました。

今後もこうした子どもに対する環境啓蒙活動にも力を入れていきます。

## 海外での環境活動支援

1996年からは国連大学に資金支援するとともに、同大学の環境管理プロジェクトに参画しています。その第4期プログラム「アジア水圏における環境モニタリングとガバナンス」では、アジア沿岸水域の河川や淡水圏における残留性有機汚染物質の抑制と防止を目的として、水生生物の汚染状況の調査とモニタリングを行ってきました。当社は、ガスクロマトグラフ質量分析計10台の貸与をはじめ、分析技術やノウハウの提供、国際シンポジウムやトレーニングワークショップを行い、参加研究機関の分析技術の向上と人的ネットワークの強化に貢献しています。

当社は今後も事業活動を通じた環境保全活動を進めると同時に、社外へ、そして海外へと環境への取り組みをグローバルに展開して参ります。

## 災害などの救急医療現場での活躍も期待される回診用X線撮影装置

表紙に掲載した製品は、今年9月に発売した新製品のデジタル式回診用X線撮影装置「Mobile DaRt Evolution(モバイルダート エボリューション)」です。同装置は、X線撮影を必要とする場所に装置を移動させ、可搬型のFPDを用いてX線撮影を行い、撮影3秒後にはその場で本体モニタに表示される画像を確認することができる検査装置です。一般病室や手術室などでもX線撮影ができるため、術後の患者さんや重症者などX線撮影室まで移動するのが困難な場合にその性能を発揮します。

今年5月に発生した中国・四川大地震の被災地では、当社が緊急支援した回診用X線撮影装置が被災者のX線撮影にスピーディに効率よく対応したことから、現地で高く評価されました。新製品も含めて、今後救急医療現場での活躍がさらに期待されます。

回診用X線撮影装置 Mobile DaRt Evolution



# 連結決算の概要

## 連結貸借対照表

(百万円)

	当上半期末 (平成20年9月30日)	前期末 (平成20年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産	186,679	199,378
<b>ポイント1</b> 現金及び預金	23,643	35,766
受取手形及び売掛金	81,019	87,238
たな卸資産	71,386	66,000
その他	11,766	11,252
貸倒引当金	△ 1,137	△ 879
固定資産	103,696	104,452
有形固定資産	(68,880)	(66,788)
建物及び構築物	33,613	33,708
機械装置及び運搬具	6,026	6,418
土地	18,931	18,849
その他	10,309	7,812
無形固定資産	(6,368)	(6,211)
投資その他の資産	(28,447)	(31,453)
投資有価証券	10,017	12,352
長期貸付金	1,408	969
その他	17,239	18,302
貸倒引当金	△ 217	△ 171
<b>ポイント1</b> 資産合計	290,376	303,830

### ポイント1 総資産の減少

総資産が135億円減少しました。主に社債150億円を償還し、現金及び預金が121億円減少したことによりです。

### ポイント2 自己資本比率の向上

利益剰余金の増加などにより、自己資本比率が3.9ポイント向上し、53.4%となりました。

	当上半期末 (平成20年9月30日)	前期末 (平成20年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債	97,140	103,911
支払手形及び買掛金	50,582	52,611
短期借入金	7,867	5,246
<b>ポイント1</b> 1年内償還予定の社債	10,000	15,000
その他	28,690	31,053
固定負債	37,788	49,207
<b>ポイント1</b> 社債	10,000	20,000
長期借入金	2,288	2,556
退職給付引当金	16,935	19,432
役員退職慰労引当金	237	237
その他	8,327	6,982
負債合計	134,928	153,118
<b>純資産の部</b>		
<b>ポイント2</b> 株主資本	155,451	148,875
資本金	26,648	26,648
資本剰余金	35,188	35,188
利益剰余金	94,209	87,574
自己株式	△ 594	△ 536
<b>ポイント2</b> 評価・換算差額等	△ 446	1,432
その他有価証券評価差額金	2,332	3,211
為替換算調整勘定	△ 2,778	△ 1,779
少数株主持分	441	404
純資産合計	155,447	150,712
<b>ポイント2</b> 負債純資産合計	290,376	303,830

### ポイント3 当上半期の業績状況(対前年同期比)

売上高が13億円減少したことに伴い、営業利益は4億円減少しました。一方、経常利益は営業外収支の改善により、5億円増加し、中間純利益は税負担の減少により、13億円の増加となりました。

## 連結損益計算書

(百万円)

	当上半期 (平成20年4月1日～ 平成20年9月30日)	前上半期 (平成19年4月1日～ 平成19年9月30日)
ポイント③ 売上高	136,959	138,276
売上原価	82,459	84,556
販売費及び一般管理費	42,453	41,310
ポイント③ 営業利益	12,046	12,409
営業外収益	956	985
営業外費用	1,155	2,091
ポイント③ 経常利益	11,846	11,303
特別利益	1,476	256
特別損失	2,081	307
税金等調整前中間純利益	11,241	11,251
法人税、住民税及び事業税	3,320	4,018
法人税等調整額	40	622
少数株主利益	4	23
ポイント③ 中間純利益	7,875	6,585

## 連結キャッシュ・フロー計算書

(百万円)

	当上半期 (平成20年4月1日～ 平成20年9月30日)	前上半期 (平成19年4月1日～ 平成19年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,971	2,712
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 5,294	△ 6,557
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 15,023	△ 2,936
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 193	592
現金及び現金同等物の増減額(減少:△)	△ 12,540	△ 6,188
現金及び現金同等物の期首残高	35,077	26,906
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	503	106
現金及び現金同等物の中間期末残高	23,039	20,823

## 連結株主資本等変動計算書

(百万円)

当上半期(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

	株主資本					評価・換算差額等			少数株主 持分	純資産 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等合計		
平成20年3月31日残高	26,648	35,188	87,574	△ 536	148,875	3,211	△ 1,779	1,432	404	150,712
当中間期の変動額										
剰余金の配当			△ 1,476		△ 1,476					△ 1,476
連結の範囲の変動			119		119					119
在外子会社の会計基準の変更 による利益剰余金増加額			116		116					116
中間純利益			7,875		7,875					7,875
自己株式の取得				△ 58	△ 58					△ 58
株主資本以外の項目の当中間期の変動額(純額)					—	△ 879	△ 998	△ 1,878	37	△ 1,840
当中間期の変動額合計	—	—	6,634	△ 58	6,576	△ 879	△ 998	△ 1,878	37	4,735
平成20年9月30日残高	26,648	35,188	94,209	△ 594	155,451	2,332	△ 2,778	△ 446	441	155,447

# 単独決算の概要

## 貸借対照表

(百万円)

	当上半期末 (平成20年9月30日)	前期末 (平成20年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産	117,855	127,074
現金及び預金	3,664	13,409
受取手形	15,540	19,582
売掛金	41,959	41,956
たな卸資産	44,480	38,798
その他	12,407	13,538
貸倒引当金	△ 197	△ 211
固定資産	103,596	105,751
有形固定資産	(58,814)	(58,458)
建物及び構築物	30,144	30,196
機械及び器具等	9,329	10,058
土地	18,281	18,169
その他	1,058	33
無形固定資産	(5,559)	(5,411)
投資その他の資産	(39,222)	(41,882)
投資有価証券	9,621	11,748
関係会社株式	13,774	13,774
長期貸付金	1,522	1,085
その他	14,506	15,474
貸倒引当金	△ 202	△ 200
資産合計	221,451	232,826

## 負債の部

	当上半期末 (平成20年9月30日)	前期末 (平成20年3月31日)
流動負債	78,435	79,959
支払手形	771	983
買掛金	37,997	35,303
短期借入金	11,461	10,201
1年内償還予定の社債	10,000	15,000
未払金	9,438	10,988
その他	8,765	7,482
固定負債	28,709	41,124
社債	10,000	20,000
長期借入金	382	456
長期未払金	463	463
長期預り金	5,871	6,205
退職給付引当金	11,493	13,999
その他	498	—
負債合計	107,144	121,084
<b>純資産の部</b>		
株主資本	111,979	108,538
資本金	26,648	26,648
資本剰余金	35,188	35,188
利益剰余金	50,737	47,237
自己株式	△ 594	△ 536
評価・換算差額等	2,327	3,203
純資産合計	114,307	111,741
負債純資産合計	221,451	232,826

## 損益計算書

(百万円)

	当上半期 (平成20年4月1日～ 平成20年9月30日)	前上半期 (平成19年4月1日～ 平成19年9月30日)
売上高	83,536	83,022
売上原価	57,284	56,278
売上総利益	26,251	26,744
販売費及び一般管理費	21,791	21,453
営業利益	4,460	5,290
営業外収益	3,457	3,174
営業外費用	1,275	2,192
経常利益	6,642	6,273
特別利益	1,465	246
特別損失	1,790	290
税引前中間純利益	6,316	6,229
法人税、住民税及び事業税	543	1,072
法人税等調整額	797	412
中間純利益	4,976	4,744

# 会社概要 (平成20年9月30日現在)

## 会社概要

商号 株式会社島津製作所  
SHIMADZU CORPORATION  
創業 明治8年(1875年)3月  
設立 大正6年(1917年)9月  
本社所在地 〒604-8511  
京都市中京区西ノ京桑原町1番地  
電話075-823-1111(代表)  
資本金 26,648,899,574円  
従業員数 単独 3,200名 連結 9,617名  
連結子会社数 国内32社 海外44社

## 主要な事業所

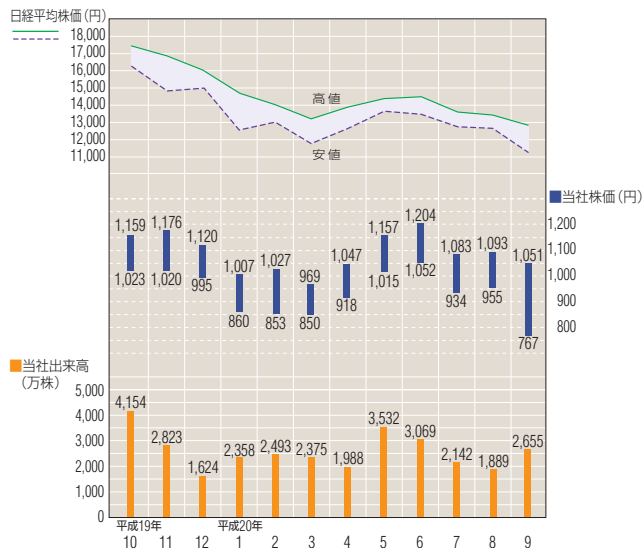
本社 京都市中京区西ノ京桑原町1番地  
支社 東京/関西(大阪市)  
支店 京都/九州(福岡市)/名古屋/横浜/  
北関東(さいたま市)/神戸/つくば/広島/  
東北(仙台市)/札幌/四国(高松市)/静岡  
工場 三条/紫野(いずれも京都市)/厚木(厚木市)/  
秦野(秦野市)/瀬田(大津市)  
研究所 基盤技術研究所(京都府精華町/東京都千代田区)  
田中耕一記念質量分析研究所(京都市)

# 株式情報 (平成20年9月30日現在)

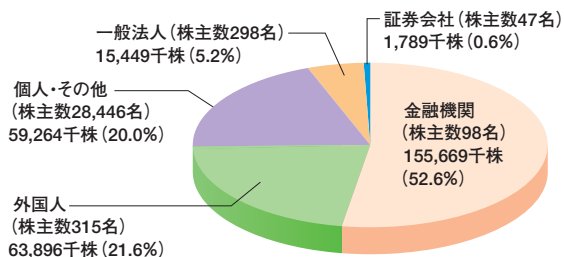
## 株式の状況

株主数…………… 29,204名  
発行済株式総数…………… 296,070,227株

## 株価の推移 (東京証券取引所)



## 株式の所有者別分布



## 大株主

株主名	持株数(千株)	出資比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 [信託口]	23,173	7.85
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 [信託口]	21,474	7.28
明治安田生命保険相互会社	21,130	7.16
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 [信託口4G]	8,317	2.82
東京海上日動火災保険株式会社	7,687	2.60
株式会社三菱東京UFJ銀行	7,672	2.60
太陽生命保険株式会社	7,411	2.51
日本生命保険相互会社	6,182	2.09
全国共済農業協同組合連合会	5,847	1.98
ザチェアマンハットバンクエヌエイロンドンエスエルオムニバスアカウント	5,057	1.71

\* 出資比率は、自己株式(923,915株)を控除して計算しております。

# 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月に開催
基準日	定時株主総会、期末配当：毎年3月31日 中間配当：毎年9月30日
公告方法	電子公告とし、当社ホームページ ( <a href="http://www.shimadzu.co.jp/aboutus/ir/kk.html">http://www.shimadzu.co.jp/aboutus/ir/kk.html</a> )に掲載します。 ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告を することができない場合は、京都新聞および日本経済新聞に掲載します。

株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	〒530-0004 大阪市北区堂島浜一丁目1番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 電話(通話料無料)0120-094-777 (受付時間 土・日・祝祭日を除く9:00～17:00)

## 平成21年1月5日施行の株券電子化実施に伴うお知らせ

### 1. 特別口座について

#### (1) 特別口座への口座残高の記帳

証券保管振替制度をご利用でない株主様につきましては、ご所有の株式は特別口座に記録されます。特別口座に記録された株式数等のご案内は、平成21年2月中旬頃、お届けのご住所宛にお送りする予定です。

#### (2) 特別口座に記録された株式に関する手続き

特別口座に記録された株式に関する手続き(株主様の口座への振替請求・単元未満株式買取請求・お届出住所の変更・配当金の振込指定等)につきましては、右記口座管理機関の連絡先にお問合せください。お手続きが可能となるのは、平成21年1月26日(月)以降ですので、ご留意ください。

#### 特別口座の口座管理機関

東京都千代田区丸の内一丁目4番5号  
三菱UFJ信託銀行株式会社

#### 連絡先

〒530-0004  
大阪市北区堂島浜一丁目1番5号  
三菱UFJ信託銀行株式会社  
大阪証券代行部  
電話(通話料無料)0120-094-777

### 2. 株券電子化前後における単元未満株式の買取請求について

#### (1) 証券保管振替制度をご利用でない場合

平成21年1月5日(月)から平成21年1月25日(日)までは、受付をいたしません。また、平成20年12月25日(木)から12月30日(火)までのご請求受付分につきましては、買取価格はご請求受付日の終値を適用いたしますが、買取代金のお支払いを平成21年1月30日(金)とさせていただきます。

#### (2) 証券保管振替制度をご利用の場合

一定期間、お取引の証券会社で取次を行わないと承っております。具体的な日程につきましては、お取引の証券会社にお問合せください。

## 島津創業記念資料館のご案内

昭和50年、創業100周年記念事業の一環として日本の科学技術研究の一助になればとの念願から、当社創業の地、京都木屋町二条に開設。国産最古の顕微鏡をはじめ、創業当時の理化学機器・標本や初期の医用X線装置を中心に、文献・資料など約600点を展示、一般公開しています。昨年7月、入館者が開設以来20万人となりました。

- 休 館 日 / 水曜日、年末年始
- 入館時間 / 9:30～16:30(閉館17:00)
- 入 館 料 / 大人300円 高・中学生200円  
団体割引(20名以上20%引)



### 島津創業記念資料館(国の登録有形文化財)

建物は、創業当時のままの姿を残しています。

- 市バス 市役所前下車徒歩約2分
- 京阪電車 三条下車徒歩約7分
- 地下鉄東西線 市役所前下車徒歩約2分
- 京都駅からのアクセス  
市バス:205(四条河原町方面)、17系統乗車  
タクシー:約20分



〒604-0921 京都市中京区木屋町二条南  
●TEL/075-255-0980 ●FAX/075-255-0985  
●<http://www.shimadzu.co.jp/forest/>

キリトリ

島津創業記念資料館

株主様無料入館券

本券1枚につき4名様まで無料で入館いただけます。  
(平成21年9月末まで有効)

 SHIMADZU

<http://www.shimadzu.co.jp/>

●再生紙を使用しています。

DP050-0146A  
0220-11801-30B-NS